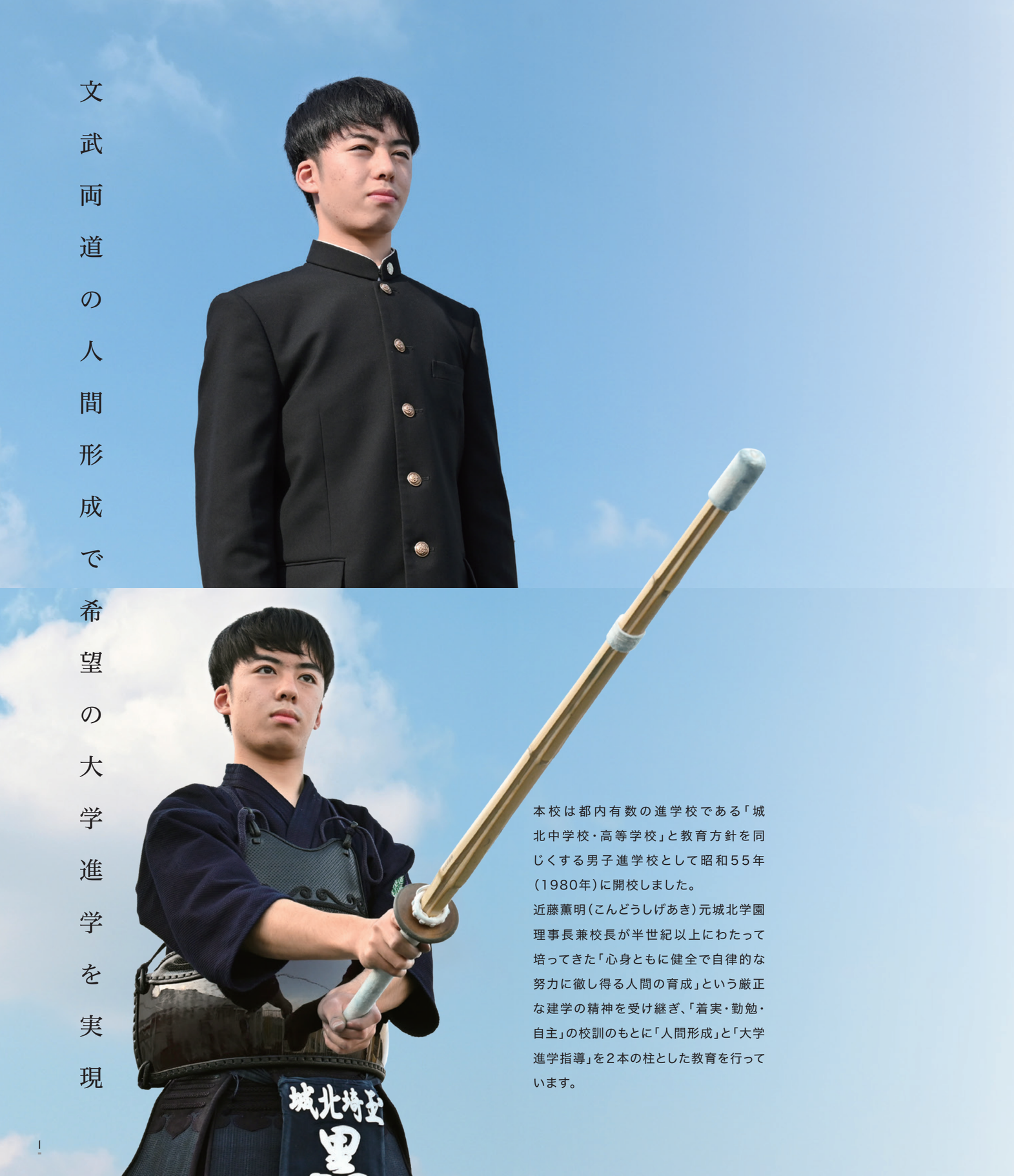
SCHOOL GUIDE 2023

城北埼玉高等学校

JOHOKU SAITAMA



文武両道の人間形成で希望の大学進学を実現

本校は都内有数の進学校である「城北中学校・高等学校」と教育方針を同じくする男子進学校として昭和55年(1980年)に開校しました。
近藤薫明(こんどうしげあき)元城北学園理事長兼校長が半世紀以上にわたって培ってきた「心身ともに健全で自律的な努力に徹し得る人間の育成」という厳正な建学の精神を受け継ぎ、「着実・勤勉・自主」の校訓のもとに「人間形成」と「大学進学指導」を2本の柱とした教育を行っています。

教育目標

自主自律の精神で道を切り拓く人間へ

城北埼玉中学・高等学校は「着実・勤勉・自主」の校訓を遵守し、自ら生活を厳しく律することのできる強い意志をもった人間の育成を目標としています。その人間性とは個性豊かな教養と情操にあふれ、社会において自ら果たすべき使命を自覚し道を切り拓く自律的な人間です。

着実　勤勉　自主

教育指針

「人間形成」と「大学進学指導」を2本の柱とし調和を目指す教育

人間形成
時代の荒波を、力強く生き抜いていく為に

大学進学指導
夢の実現を、必然へ近づける武器を得る為に

伝統と校風

「団体戦」の精神

授業・部活・学校行事などの学園生活においては、学び合い、励まし合い、支え合いの団体戦で、楽ではないが楽しい学校を目指します。

城北埼玉 2つのコース

難関大学への現役合格を目指す「本科コース」
課題解決型プログラムで即戦力を育む「フロンティアコース」

2020年度に「フロンティアコース」を新設し本科との2コース制としました。伝統・特色の一つである「文武両道」の精神で大学現役合格を目指す「本科コース」。チャレンジスピリットに溢れ実社会での即戦力となる素地を持った人材を育成する「フロンティアコース」が本校の2本柱となっています。

本科コース

≫ P5

難関大学を目指し
社会を動かす
リーダーを育てる

高校1年次

基礎固め

高校2年次

理系

理系学部に照準を合わせた
授業展開を行っていきます。

文系

文系学部に照準を合わせた
授業展開を行っていきます。

高校3年次

理系Ⅱ型

難関国公立大学等の
理系学部を目指す

目標大学

- 東京大学
- 東京工業大学
- 東北大学
- 筑波大学
- 早稲田大学
- 慶應義塾大学 など

理系Ⅰ型

難関私立大学理系
学部を目指す

目標大学

- 東京理科大学
- 上智大学
- 明治大学
- 青山学院大学 など

文系Ⅱ型

難関国公立大学文系
学部を目指す

目標大学

- 東京大学
- 一橋大学
- 東京外国語大学
- 東北大学
- 横浜国立大学 など

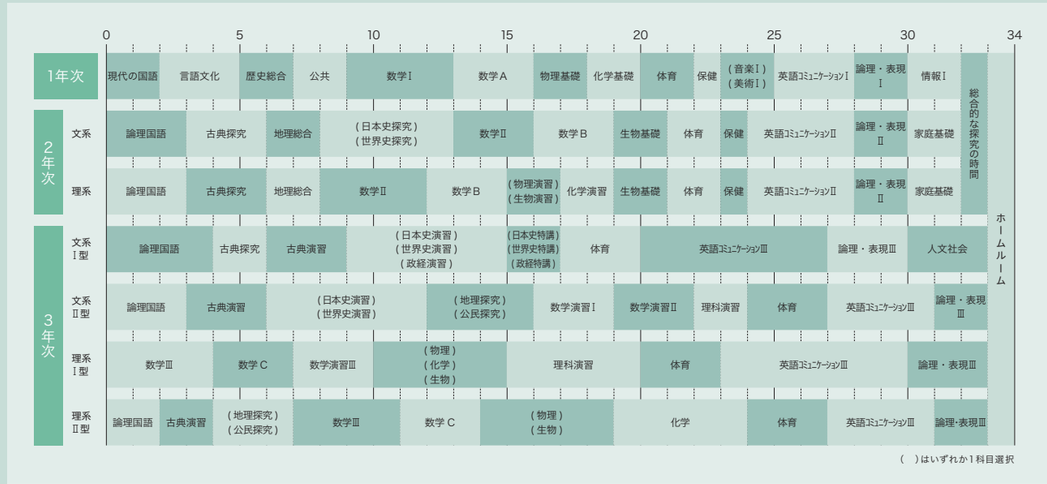
文系Ⅰ型

難関私立大学文系
学部を目指す

目標大学

- 早稲田大学
- 慶応義塾大学
- 上智大学
- 明治大学
- 中央大学 など

教育課程表 CURRICULUM



本科コースでは3年次の1学期までに、ほとんどの教科で高校の履修範囲を修了します。

フロンティアコース

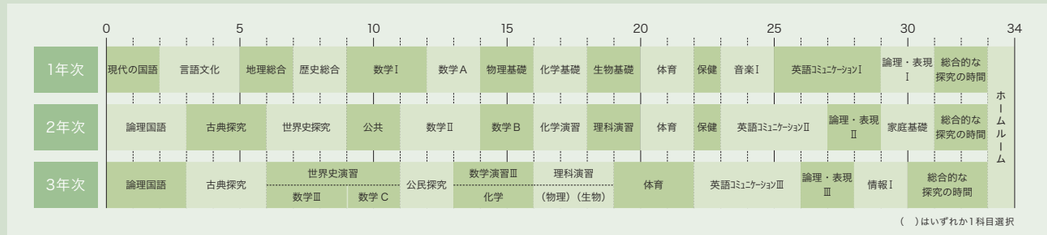
≫ P9

ダイバーシティと
インクルージョンを尊重し
共生社会のリーダーとなる
人材を育てる

FRONTIER MISSION 高校1〜3年次

基礎活動	目指す姿
体験型学習 フィールドワークや農園、企業訪問、社会人セミナーなどリアルな体験ができるプログラムを実施する。	知識を増やすことだけではなく、何事も自分事としてとらえる姿勢を身に付ける。
プロジェクト型学習 正解のない問いかけに対して、チームで課題解決に向けて取り組んでいく。	ブレーンストーミングを通して、他者の意見を尊重し、収束に向けて協働する力を習得する。また、チームの中での役割を設定し、一人一人が機能することを意識し、メタ認知ができるようになる。
発信力育成 文章・画像・言葉を駆使し、相手に伝える、そして伝わる表現方法を模索していく。	思考や考えを相手に理解されるように伝えること、また相手の意見や真意を正確に受け止めることで齟齬を解消し、パートナシップを推進する。

教育課程表 CURRICULUM



TOPICS フロンティアコースは、学びの形式・評価方法が違います。

学びの形式

文理融合型カリキュラムです。選択科目が少なく、すべての教科が万遍なく組まれています。なぜなら、幅広い教養を求める姿勢がフロンティアの目指す生徒像だからです。本科の国公立型に近いともいえます。

評価方法

校訓の一つである「自主」を重視するのがフロンティア。自ら求める心が学びの原点です。そこからおのずと「着実」「勤勉」につながっていきます。自主的に協働学習に取り組む姿勢やプレゼンテーション活動が評価されます。

本科コース

文武両道で第一志望の現役合格を目指す！

週６日の授業に加え放課後や夏休み等も充実したメニューで学力向上を強力にサポートします。
実社会の課題に向き合う豊富な体験学習は志（こころざし）を育み学びの動機を高めます。

FEATURES

未来を拓く“志”を育む

JS Program
企業・大学等と連携した多彩な体験学習。希望者参加型プロジェクト。（P7参照）

企業インターンワーク
高1の探究活動の一環で企業が設定した課題に全員が取り組む。

大学講義視聴
オンラインで約3,600講義が視聴可。

校内開催 大学説明会
国公私大の担当者を学校に招いて説明会を実施。学部体験型も増強中。

学習効果を最大化する

JSLC(Johoku Saitama Learning Center)
OBの大学生チーム「放課後学習支援隊」と教員が協働し日々の放課後学習を徹底サポート。（P8参照）

各種講習会
学期中、春・夏・冬休み中も様々な講習会が続く。

各種勉強合宿
入学時のオリエンテーション合宿、高１・２の勉強合宿、3年冬期受験合宿まで続く集中勉強会。（P8参照）

一人ひとりの進路実現に導く3年間の指導

高校1年生

文系・理系の適性を計る

１年次の進路探究の狙いは２つ。１点目は大学に触れること。大学の講義動画を年３回視聴し、オープンキャンパスに参加して大学で何が学べるのか体感します。２点目は社会課題についての協働学習体験。実際に企業が抱える課題について、インターンワークでグループディスカッションを重ね、企業の社会的責任と貢献を考察し解決策を提案します。また、本校独自の探究活動JSProgramでは、出張講義や模擬裁判、校外見学ツアー等を実施します。様々な体験を通して文理選択を含め適性を考えながら、進路実現に向けプレ受験講座等で英数国を中心に学力を強化します。

高校2年生

これまでの自分とこれからの自分を考える

２年次は文系・理系の2コースに分かれ、より強い志望動機を育みます。進路探究の目的は、これまでの自分を振り返り、これからの自分を創ること。1年次からの進路探究やJSProgramを継続しつつ、大学・学部・学科を具体的に調べ、進路希望を明確化します。また、校内実施の大学説明会を活用し、大学卒業後の社会貢献まで見据えた志望理由書を作成します。言わば、第一志望宣言です。また、プレ受験講座では5教科に重点を置きさらに学力を強化します。

高校3年生

進路実現のための入試対策

３年次は国公立・私立×文系・理系の4コースに分かれ、第一志望合格に必要な学力を高めます。年間を通じてほぼ毎日放課後に講習会が組まれ、１学期で高校課程を終えます。夏休みには毎日講習会と１日10時間以上の受験合宿があります。２学期には各種推薦入試の面接練習や課題文添削が始まり、個別の一般入試カレンダーも作られます。年末の受験合宿と1月入試直前講習会で第一志望実現に向け最後の後押しをします。

体験し実感して「学ぶ意味」と「進む路」が見えてくる

“JS Program”では企業や大学、弁護士会などの協力を得て、生徒に実社会の課題に即した様々な学習機会を提供します。参加者は学ぶ意味を体感し進路選択の新たな視点を獲得するなど大きな成果をあげています。

JSP with 日大医学部「1日医師体験」

5年続く人気プログラム。多くの医学部受験者を輩出。大学の実験用手術室でPCR検査によるDNAの抽出、分析などを体験。コロナ禍で2020年からはオンライン実施。

JSプログラム「1日医療体験」は多くの医学部受験者を輩出

参加者の声（高校2年生2人）

医師を目指す気持ちが強まる

今回私が経験後に感じたことは、地道な作業がとても多いということでした。その作業が終わり、自分のDNAが出てきたときには心から驚きました。私はこの体験を通してより一層医師になりたいという気持ちが強まりました。

医学の知識を学ぶために

医学ではなく薬学系の志望でしたが、政府が推進する「チーム医療」政策において今後薬学でも医学の知識が最低限必要とされると思いました。また実験器具や試薬も含めた実験にも興味があったので、今回参加させて頂きました。

JSP with 埼玉弁護士会「最強交渉術」

弁護士会の全面協力で実施する2日間の集中プログラム。身近な事件や論争を題材に模擬裁判やディベートを体験し「論理的に考え伝える力」を養います。

JSプログラム「最強交渉術」の論戦準備（上）と模擬裁判（下）

指導者の声（高校1年担当 谷川弁護士）

生徒さんのレベルの高さを実感

「このタイプのプチ模擬裁判なら（城北埼玉の生徒さんなら）2日間でできる」という確信を持てました。初日の集合までに記録の読み込みと事前課題をこなしてきてもらえば、かなりのところまで仕上げてくれるレベルの高い生徒さんが多いと感じました。

参加者の声（高校1年生3人）

大学講義動画の受講から法律に興味

私が「最強交渉術」に参加しようと思った理由は冬休みに出された夢ナビライブの課題で法学部関係の動画を見たことです。そのとき法や法を学ぶ意味についての講義を聴き興味を持ちました。

裁判前の下準備が重要

弁護士や検察官の仕事に興味があり良い経験が得られると思ったので参加しました。裁判の前の下準備がとても重要だと感じました。また、相手に対抗するために様々な反論パターンを考えることはとても難しかったです。

価値のある唯一無二の経験

ものすごく頭を使い、複雑な要素を一つ一つ分析していき、有罪あるいは無罪判決を形作る手法や理系的思考などが要求され、とてもきつかった。同時にこれからの学びに新しい視点が開けたような感覚もあり、唯一無二の経験を得る事ができて、2日間がとても価値のある時間に感じられました。

放課後や夏休みも教員＋OB大学生が手厚くサポート

JSLC（Johoku Saitama Learning Center）を放課後に開設し、宿題や課題に取り組みながら苦手な分野を克服したり、自分の得意な分野を更に伸ばしたりできるよう、生徒一人ひとりに応じた学習支援を行っています。

JSLC　在校時間の最大活用

授業・家庭学習・受験対策を学校内で完結することを狙う放課後学習支援システムJSLC（Johoku Saitama Learning Center）。教員に加え大学生のOB学習支援隊が毎日常駐する自習教室で、家庭学習の分まで放課後に校内で完結させます。夜8時まで利用できるため原則6時までの部活動と両立させ在校時間を最大限に活用し、大学受験に備えることができます。学習環境や学習習慣の問題をクリアし、日々の学習を確実に積み上げていく仕組みとして、本校の魅力の一つとなっています。
また、放課後には1年次から教員による大学受験対策など各種講習会も開講されており、部活動とJSLC、学校行事の準備などを生徒は各自で取捨選択しながら充実した放課後を過ごします。校訓「着実・勤勉・自主」の実践です。

ICT（情報通信技術）はあくまで手段

コロナ禍以前からスタディサプリやClassiなどのオンラインサービスの活用を始め、臨時休校中はオンラインホームルームや授業動画配信を積極的に行いました。学習面だけでなく欠席連絡など家庭とのコミュニケーション手段としての活用も進んでいます。校内のWi-Fi環境やプロジェクタ等の整備、生徒ひとり1台のiPad配布も完了し活用は進化を続けています。ICTは使うことに意味があるのではなく学習効果が重要です。生徒の情報リテラシーの獲得も見極めながら進めています。

合宿や講習会で集中学習

勉強のための宿泊行事の多さも本校の特色。入学直後のオリエンテーション合宿（高1）に始まり勉強合宿（高1、高2）、イングリッシュ・キャンプ（高1）、受験合宿（高3）があります。もちろん春・夏・冬の休みには受験講座等の様々な講習会日程が並びます。

学習支援隊のOB大学生が放課後の学習を強力サポート

受験合宿（高3）

ひとり1台のiPad活用が定着

令和3年 大学合格実績（過年度生を含む）

国公立大学	
北海道	1
群馬	1
宇都宮	2
茨城	1
筑波	1
埼玉	3
東京海洋	2
東京外国語	2
東京農工	2
横浜国立	2
東京都立	1
金沢	1
信州	2
山口	1
鹿児島	1
防衛大学校	1
水産大学校	1

医歯薬（国私立）	
医学部	
信州	1
杏林	1
日本	1
北里	1
岩手医科	1
東北医科薬科	1
東京医科	1
獨協医科	1
金沢医科	2
関西医科	1
歯学部	
日本	1
薬学部	
明治薬科	1
東京薬科	2
帝京	1

主な私立大学	
早稲田	2
慶應義塾	3
上智	6
東京理科	28
明治	17
青山学院	6
立教	12
中央	37
法政	12
学習院	10
日本	34
東洋	18
成蹊	9
成城	14
國學院	6
武蔵	10
芝浦工業	22

令和3年4月8日現在　卒業生180名

指定校推薦

これまでの合格実績が認められ多くの指定校推薦枠を獲得しています。下記は実績の一部です。年度により変わります。

- ■早稲田大学
- ■青山学院大学
- ■慶応義塾大学
- ■立教大学
- ■上智大学
- ■中央大学
- ■東京理科大学
- ■法政大学
- ■明治大学
- ■学習院大学

その他多数

「できるか、できないか」じゃない。
「どうやったらできるか」なんだ。

いつから高いところに上がらなくなったのだろう?
いつから水たまりに入らなくなったのだろう?

男子は好奇心の塊だ。

フロンティアコース

基本は城北埼玉です。文理融合型なので本科コースの国公立型に近いとも言えます。大学進学を目指しますが、学びのアプローチがちがいます。効率良く最短距離を進むのも大切ですが、まず何ごとも挑戦してみて“0を1にする”体験を増やしていくことに取り組んでいきます。役に立つか立たないか、得か損かという価値観ではなく、じっくりゆっくり思い悩むことで教養が醸成されていきます。また、リアルな世界での経験を積む**フィールドワーク**や納得する結論を協力して導く**プロジェクト型学習**を軸に、独自の授業“FRONTIER MISSION”を取り入れた課題解決型カリキュラムを展開します。このミッションのほかにも、生徒主導で企画・行動しているプロジェクトが数多くあります。好奇心に従って挑戦してみましょう。
「できるか、できないか」ではありません。「どうやったらできるか」を協働して考え、答えを導く。これがフロンティアコースのモットーです。

ホームページでも
詳しく紹介しています。

アンサングヒーロー、それは「その功績を歌われることのない英雄」。
フロンティアコースで学び、大学生そして社会人になったときにそうあってほしい人間像のひとつです。
誰かがしなければいけないことがあったら、それは自分がやってもよいと考えられる人、
そのように普段から振る舞う人が増えれば、その場所が誰にとっても安心できる場所になっていくことでしょう。
このコースで学んだチームワークを大学や社会に広げていくこと、それが最大のフロンティアミッションです。
互いを思いやり、個人が尊重され、豊かに暮らせる社会にするために何ができるか、一緒に考えていきましょう。

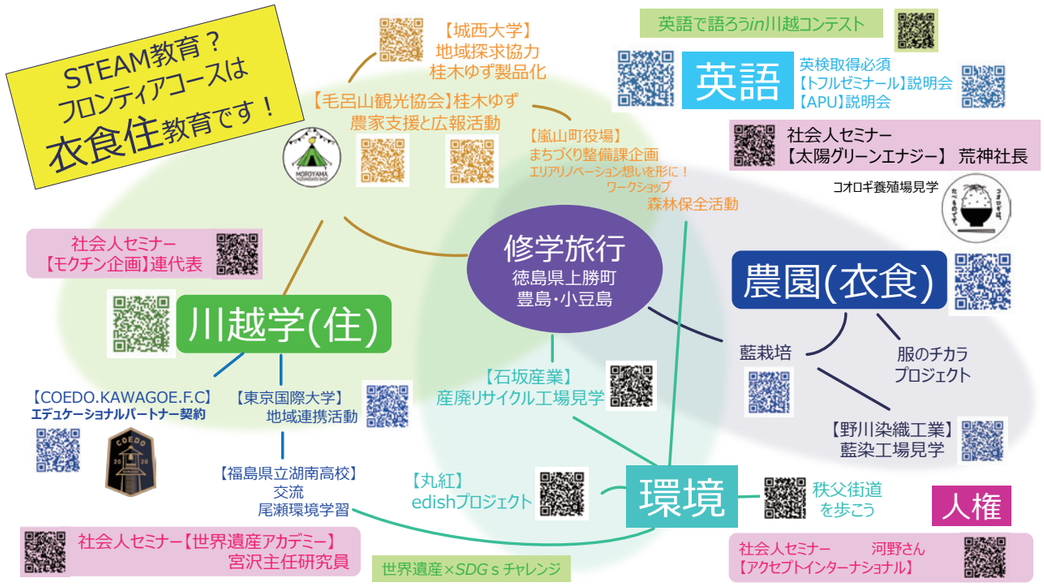
課題解決型カリキュラム”FRONTIER MISSION” 「社会を知る 地域を知る 自分を知る」

社会問題・地域課題に目を向ける　そんな広い視野を持つことで自分自身を俯瞰できるようになるのが目標です。そのために社会人セミナーや企業・各種団体・大学と連携したプロジェクトが多数あり、3つのミッションを中心に探求学習が展開されています。

MISSION - 1　川越学
歴史溢れる「小江戸川越」。100年後も人々を魅了し続ける街にするため、今の私たちに出来ることを考えます。

MISSION - 2　フロンティア農園
クリーンなエネルギーとは？川越名産であるサツマイモを育て、食し、バイオエタノールを精製します。

MISSION - 3　English communication
英語を「多様な異文化を理解し、共有するためのツール」と捉えて、実践的な英語力を身につけます。



CROSS TALK
生徒対談

視野が、思考が、広がっていく実感 これがフロンティアコース

2020年、城北埼玉高校創立40周年に
誕生したフロンティアコース。
コロナ禍中の2021年に、同コースを選択した
1期生2名と2期生1名に「フロンティアコース」での学びや
気づきについて、率直に語りあってもらいました。

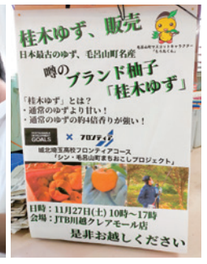
開設時に目指した“実践型カリキュラム”がコロナ禍によって制約を受ける中で…

田辺峰晶教諭　本来フロンティアコースは、地域とのつながりや社会への関心を重視し、学内学習を超えた気づき・学びによって、より豊かな人材育成を目指して生まれたコースです。しかしコロナ禍によって、学外活動にはかなり制約がかかってしまいました。そんな中で入学した皆さんに、フロンティアコースでのこの1年について、素直な気持ちを聞かせてほしいです。

荒牧伶　僕は1年目のテーマとして、廃食材を利用して作られたアップサイクル型食器を学食で使用し、ごみの削減やリサイクルにつなげるという取り組みを選びました。導入にあたっては上場企業の方とweb会議で打ち合わせをして頂いたり、校長先生や事務長先生にプレゼンしたり、今までにない挑戦ができているなぁと思います。

新井大翔　僕は知る人ぞ知る日本最古のゆず・桂木ゆずのPRを通した町おこしプロジェクトに取り組んでいます。収穫のお手伝いや、ショッピングモールでの直売イベントの計画・実施をしたのですが、まだまだやらなければならないことがあると感じています。地域密着型の取り組みなので、もっと現地を訪れたいのですが、今は難しい。限られた時間で何を調べるか、どんな成果を目指すか、事前にしっかり考えておくのが大事だと感じました。

井上仁　僕が取り組んだのは、アクアポニックスという魚と野菜を同時に育てる農法です。魚の排泄物を栄養に野菜を育て、野菜の浄化機能で水をきれいにし、魚を育成するという次世代型の循環農法の実験をしています。これまでガーデニングもしたことがなかったので、新しい発見ばかりだし、うまくいかないことも次々起こる。でも、植物や魚の成長や変化が見えるのはとてもおもしろいです。マニュアルがあるわけではないのでチームの仲間と検証→仮説→対策を繰り返していますが、完成までにはもう少しかかりそうです。



田辺　地域密着型プロジェクトに取り組んでいると、過疎化や高齢化にはすぐ気づくのだけど、その先には食料生産や流通の問題も見えてくる。さらに広げると食料自給率や飢餓の問題ともつながっていくんだよね。

新井　桂木ゆずの場合は、地域で栽培されてきた背景や、なぜ幻のゆずになってしまったのかを掘りさげて、次の課題を見いだすという感じ。収穫支援活動だけが目的ではないんです。

井上　僕は英語が好きで、いずれは国際支援の仕事もいいなと思っているので、フィールドワークで得られる知識や経験はきっと役に立つと思います。

全校生徒に支給されるタブレットの活用を通じて身につける情報リテラシー

荒牧　フロンティアコースでよかったと思ったのが、タブレットが活躍する場面が多いこと！

井上　調べる、記録する、ミーティングする、資料つくる、レポート書く。タブレットがあるとなんでもできるな～って。

新井　このポスター（左下の写真）もタブレットで作りました。写真を撮って、アピールポイントやデザインも自分たちで考えて。

井上　同じプロジェクトのメンバーとの情報共有や、連携してくださっている企業の方とのコミュニケーションにも欠かせないし、すごく大事なツールです。

田辺　フロンティアコースの教育目標の一つに、情報リテラシーを身につけた人材の育成があります。情報機器の活用も学習の一環と考えていますが、便利に使うことは目に見える部分。実は情報リテラシーについて学ばせたいんです。それを身につけるには使ってみないとわからないので。みんなが活用する中で正しい使い方を学んでくれて嬉しいです。

自主性と独立心はおのずと磨かれる本分である学科でも遅れは取らず

田辺　新設コース2期目でまだ卒業生もいないし、入学前とか不安はなかったですか？

井上　う～ん。フィールドワークやグループワークが多そうで、カリキュラム通り進むのかなぁと思ってたけど、実際は問題ないですね。

荒牧　プロジェクトもあって当然忙しいけど、先輩の様子を少し知っていたので予想の範囲内というか。

新井　でも課題や試験対策は自主的にやらないとって思う。常に自分の気持ちが試されているというか…。でも、勉強が得意なクラスメイトに聞けたり、一緒に勉強するような雰囲気が普通にあるのは1クラスだけのフロンティアコースの強みだよね。自分もやらなきゃってなるし。

井上　風通しがいい。意見交換も活発だし、そこは少人数だからこそのよさかも。

荒牧　勉強もプロジェクトでも、他の人がどんなことをしてるのかな、どこまで進んでるのかなって気になります。面白いことやってたら「参考にしよ！」ってなるし（笑）。

田辺　フロンティアコースを選んだ時点で、一歩踏み出そうというコンセプトに惹かれて入学してくるわけで、積極性のある子が多いのは必然か。

新井　でも僕、もともと人前で話をしたりするの苦手なんです。でも入学してから随分変わったねって親にいわれました。

井上　そうなんだ。プレゼンのときやモールのお客さんの前でやったPR活動も、堂々としてたけど？

新井　だってそこでは恥ずかしいとか苦手とかいってられないでしょ（苦笑）。

荒牧　確かに。知るだけでなく、発信して相手に伝わるところまでやってこそプロジェクトですしね。

未来はまだ分からないけれど視野も可能性も確かに広がっている

田辺　新井君のようにフロンティアコースに入って「自分、変わったな」て感じることや、将来の希望が見えてきた、といった感覚はありますか？

井上　アクアポニックスもそうですが、ここに来なければ自分では絶対取り組まなかったことができている。そして、僕らのチャレンジのために、先生だけでなく、いろんな立場の方々が応援してくれることにびっくりしています。

新井　社会人セミナーで講演してくれた方や、フィールドワークで知り合った方々が、自分たちの知識や技術をすごく楽しそうに話してくれるんです。そんなみなさんの共通点だなって思うのが、人に喜んでもらえるような社会貢献の意識を持っているんですね。あー自分もこんな大人になりたいなって思います。
あと、ひとつ知れば次の疑問や課題が見つかるので、視野や興味がどんどん広がっていく感じ。学びに終わりがない（笑）

荒牧　僕は、高校生のうちから、本気の大人と議論したり、プロジェクトにかかる資金計画まで考える機会が得られて、変わった部分があるかな、と。「環境循環型容器」はまだまだコストがかかるのが実情ですが、企業としてはSDGｓ的な面で注目されるから事業化できるっていう裏付けがあると思うんです。
ひとつの製品が人の心にアプローチして、社会を変えるきっかけになったらいいなと思いますし。僕自身、環境ビジネスへの興味が深まって、将来こんな分野に進むのもいいなって思いました。

新井　僕は今のところそこまで具体的ではないけど、大学進学でも就職でも、チームワークや、各方面と連携しての課題解決力が求められるんだろうな、というイメージが湧きました。

井上　元々英語が好きで、いずれは国際系の大学や仕事にと思っているので“英語力×何か”を武器にするためにも、興味を持ったテーマには積極的につっこんでいきたいです。

田辺　フロンティアコースはグローバル教育の一環で語学にも力を入れていますが、それもやはり、みんなの選択肢を増やし、可能性を広げるためなんですよね。伝えたいことあっての英語ですから。
身近にある様々な課題の中から、どのテーマを選ぶか、そしてプロジェクトをどう進めていくか。フロンティアコースでの日々が、まだ知らない自分との出会いや、未来を拓くきっかけになってくれたらと願っています。

部活動紹介

「120%完全燃焼」を目指し全力で励む生徒を応援しています。

各クラブ活動の紹介を
ホームページでも
行っています。

運動部　己を鍛え、人間として成長する

- 剣道部
- 硬式野球部
- バスケットボール部
- 陸上競技部
- ラグビー部
- 少林寺拳法部
- 硬式テニス部
- バレーボール部
- 自転車競技部
- ハンドボール部
- サッカー部
- 卓球部
- 水泳部
- スキー部
- スポーツチャンバラ同好会

剣道部

硬式野球部

バレーボール部

水泳部

ラグビー部

スキー部

ハンドボール部

サッカー部

陸上競技部

自転車競技部

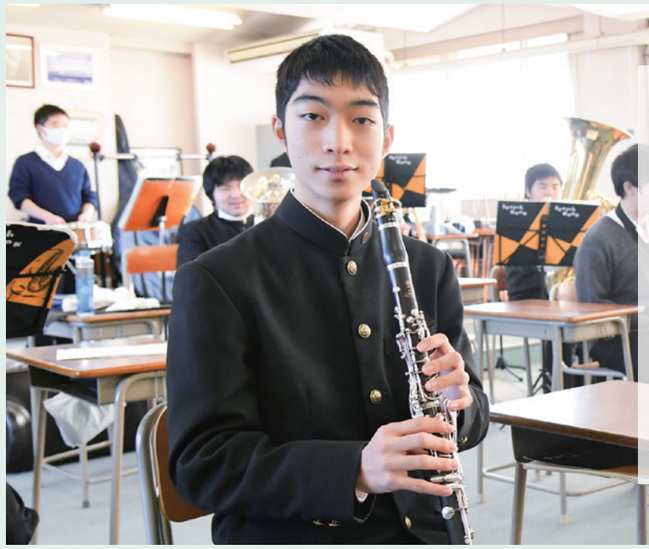
目標を持ってやり抜く力を部活動で身につけた。

硬式テニス部　高校2年生
飯野 陽貴 くん

私は高校入学からテニスを始めたので、入部直後は心配もありました。しかし、コーチや先輩方が分かりやすく教えてくれたおかげで、1年生のうちから大会に出場できるようになりました。部活動のない日でも、部員とはテニスを練習しに行ったりしています。
勉強との両立も不安でしたが、国立大学に行きたいという目標を持って、部活動のない日や、隙間時間を毎日欠かさず勉強にあて、定期考査や模擬試験でも安定して良い成績を出せるようになりました。目標を持ってやり抜く力も部活動を通して身につけることが出来ます。

文化部　やりたいことをとことん追求する

- 化学部
- 軽音楽部
- 英語研究部
- 釣り部
- 生物部
- 吹奏楽部
- 地歴部
- 囲碁将棋部
- 物理部
- 鉄道研究部
- 書道部
- 漫画動画研究部
- 写真部
- 模型部
- 美術部
- デジタル技術研究部
- クイズ同好会
- その他同好会多数



皆で一つの音楽を創り出す大切な仲間との出会い。

吹奏楽部　高校2年生
加藤 愛富 くん

吹奏楽部の魅力は、皆で一つの音楽を創り出すことだと思います。そこでは一人一人が主役になることができます。部活動を通して、技術の向上だけではなく、大切な仲間との出会いや、その仲間との協力の大切さも身につけることが出来ます。
吹奏楽部は週に5日活動日があるので、勉強との両立は大変ですが、部活動を通して仲間と協力し合いながら、日々勉強に取り組んでいます。

化学部

英語研究部

鉄道研究部

写真部

書道部

クイズ同好会

吹奏楽部

釣り部

漫画動画研究部

模型部

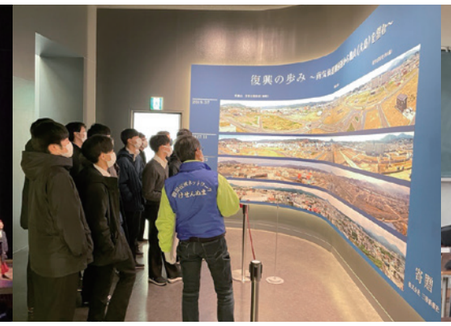
囲碁将棋部

年間行事予定

運動・芸術・文化に関する情操教育が生徒の感性を刺激する

「人間形成」を教育理念の一つの柱としている本校の教育活動には、日常の学校生活を核とする指導と、学校生活とは異なる環境に身を置いて様々な事象にふれさせる体験的な学習指導があります。

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
April	May	June	July	August	September	October	November	December	January	February	March
・入学式 ・始業式 ・対面式 ・新入生オリエンテーション ・各種検診 ・宿題考査 ・避難訓練 ・保護者会	・衣替え ・第1回定期考査	・体育祭 ・保護者会	・第2回定期考査 ・音楽鑑賞会 ・終業式 ・夏期講習会	・夏期講習会 ・受験合宿（高3） ・始業式 ・宿題考査	・文化祭 ・球技大会	・定期考査 ・修学旅行（高2）	・衣替え ・保護者会 ・創立記念日（11日） ・イングリッシュキャンプ（高1）	・高3卒業考査 ・第4回定期考査 ・終業式 ・冬期講習 ・企業インターンワーク（高1） ・勉強合宿（高1・高2希望者） ・スキー教室（高1・高2希望者）	・受験合宿（高3） ・始業式 ・宿題考査	・保護者会	・第5回定期考査 ・卒業式 ・終業式 ・春期講習



PICK UP

コロナ禍、アフターコロナを意識して取り組んだ企業インターンワークでの貴重な経験。

高校2年生 **石坂 光理** くん

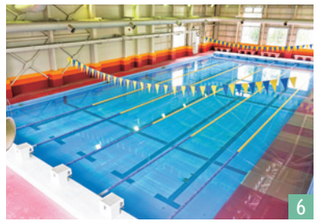
企業インターンワークに取り組む上で一番意識したことは、コロナ禍、アフターコロナを一つの時代として考え、私たちと社会に共通する課題を見つけ出すことでした。商品の使用者と提供者の双方のメリットを追求することは、簡単なように見えて難しい問題であることがわかりました。私達は、そのような課題に取り組む上で社会システムの一部であるという考えを培うことができました。本当に貴重な経験でした。

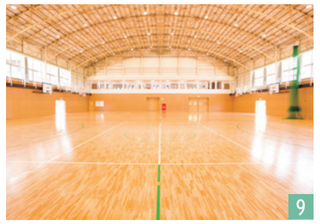
多彩なイベントが感性を磨く

多感な青年期にあって、芸術・文化に関する情操教育も「人間形成」にとって重要な要素です。毎年行われる芸術鑑賞会では一流のアーティストや評価の高い芸術を厳選し、体験学習の一環としています。さらに、6月の体育祭、9月の文化祭では男子校らしい活気に満ちた経験をすることができます。

施設・設備

充実した環境で学び育つ





1 正門のアーチ

城北埼玉の生徒たちを毎朝迎えてくれる正門のアーチ。くぐると充実の1日が始まります。

2 校舎

代々生徒が過ごしてきた学舎。この中で、日々の切磋琢磨が繰り広げられています。

3 パソコン教室

50台のパソコンが設置されているコンピュータールーム。授業や部活動などで使用します。

4 自習室

仕切りがある席で勉強に取り組みたい時に自由に使えます。一気に集中して能率アップ!

施設・設備のもっと詳しい説明はこちらから

5 スクールバス

城北埼玉生の登下校といったらコレ！ ブルーが鮮やかなスクールバスが生徒を運びます。

6 室内温水プール

年間を通して泳げる室内温水プール。泳ぎが苦手でもあっという間に得意になっていきます。

7 食堂

ドーム型の高い天井が開放的な食堂。メニューも豊富で食べ応え充分です。

8 第1グラウンド

生徒達が日々努力を積み重ねているグラウンドは第1〜第3まであり、充実した運動を行っています。

9 体育館

最新の設備がうれしい体育館。思わずダイナミックなプレーが飛び出します。

10 近藤記念ホール

様々な用途に使用される近藤記念ホール。生徒は勉強に集会に様々な場面で訪れます。

「楽ではないが楽しい学校
楽ではないがおもしろい学校」を目指して

本校では「着実・勤勉・自主」の校訓のもと「人間形成」と「大学進学指導」を２本の柱とした教育活動を実践しております。

生徒の皆さんは、授業だけでなく部活動や学校行事などにも積極的に参加し、多くの仲間とともに「悔いのない学校生活」を楽しんでおります。

「文武両道」は城北埼玉の伝統、特色の１つです。勉強も部活も頑張ることで、バランスのとれた「楽ではないが楽しい学校、楽ではないがおもしろい学校」になってほしいと願っています。

まずは「武を尊重した文の優先」を目指した、健やかな成長を期待したいと思います。

「団体戦の精神」も本校の特色の１つです。「学び合い、励まし合い、支え合い」を合い言葉に、知識を広め、学力を伸ばし、友情の輪を広げ、集中力を養い、マナーを守ることを学び、感謝する心を培い、切磋琢磨して互いに成長する環境を作っていきます。

そんな城北埼玉で、受験生のみなさんにも充実した学校生活を送ってもらいたいと思っております。

城北埼玉中学・高等学校　校長

森泉　秀雄

森泉校長が語る
城北埼玉の男子教育とは

オープンスクール・学校説明会・個別相談会日程
［生徒・保護者向け ｜ 要予約 ｜ 上履持参］

※予約はWebにて。前日まで予約受付可能。個別相談会は個人資料持参。
スクールバスダイヤおよび開始時刻は当校ＨＰへ

ホームページは
こちらから

オープンスクール

6月18日（土）　7月30日（土）

［会場］近藤記念ホール　［内容］施設見学・授業見学・部活動見学　等

学校説明会・個別相談会

［会場］近藤記念ホール　［内容］教育理念・教育課程・2023年度入試概要　等

	7/2(土)	8/20(土)	9/17(土)	10/15(土)	11/19(土)	12/18(日)	12/24(土)
学校説明会	○	○	○	○	○	○	–
個別相談会	–	–	○	○	○	○	○

※9月以降ナイト個別相談会や年末個別相談会（会場：本校）を開催する予定です。詳細はHPにて。

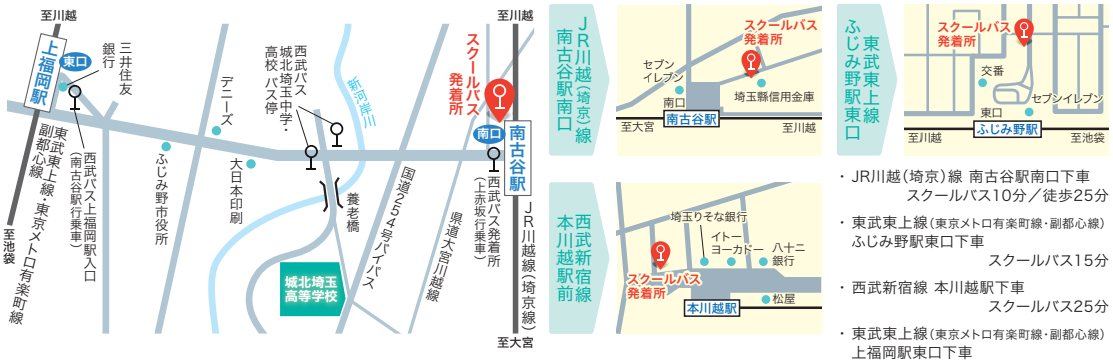
所要時間案内図

- 西武新宿線
- JR川越線
- JR宇都宮線
- JR京浜東北線
- JR中央線
- 西武池袋線
- JR埼京線
- JR武蔵野線
- JR高崎線
- JR八高線
- 東京メトロ有楽町線
- 東京メトロ副都心線
- 東武東上線
- 東武野田線
- 東武伊勢崎線

●枠内（数字／分）は城北埼玉中学・高等学校から
ふじみ野、南古谷、本川越駅までのスクールバス運行所要時間です。

○枠内（数字／分）はふじみ野、南古谷、本川越各駅を起点とした
所要時間です。乗り換え時間などは含みません。

周辺案内図・通学用スクールバス運行駅周辺案内図



- JR川越（埼京）線 南古谷駅南口下車
  スクールバス10分／徒歩25分
- 東武東上線（東京メトロ有楽町線・副都心線）
  ふじみ野駅東口下車
  スクールバス15分
- 西武新宿線 本川越駅下車
  スクールバス25分
- 東武東上線（東京メトロ有楽町線・副都心線）
  上福岡駅東口下車
  徒歩25分

JOHOKU SAITAMA

城北埼玉高等学校

https://www.johokusaitama.ac.jp

〒350-0014 埼玉県川越市古市場585-1　TEL: 049-235-3222 / FAX: 049-235-7020